

平成21年度地域自立支援協議会

●平成21年度の地域課題

- 1 ホームヘルパーが不足しており、必要としている人にサービスが行き渡っていない。
- 2 発達障がい者について地域社会の理解が不足しており、連携ができていない。
- 3 障がいに対しての理解を深めることが必要である。
- 4 障がい者を支えている家族への支援・教育が必要である。

●取り組み状況

1 居宅支援部会

- ・「居宅介護に関するQ&A集」を作成…12月に居宅介護事業所、障がい者関係団体、障がい者生活支援センター、身体・知的障がい者相談員に配付、障がい福祉課窓口を設置
- ・「地域においてボランティアを交えた誰でも集える場所の創設」について検討中

2 発達障がい部会

- ・「乳幼児期の資源表」を作成…8月に市内小中学校、保育園、幼稚園、児童デイサービス事業所など関係支援者に配付
- ・「学齢期・成人期の資源表」の作成中

3 事業所連絡会

- ・チーム・メッセージャー…12月末までに9回実施、参加者274名
※発達障がいの理解、精神障がいの特性についてなど

- ・障がい理解のための啓発講演会…11月22日（日）実施

テーマ「若者の発達障がいとの付き合い方

～思春期から青年期の発達障がいを理解する～

講師 名古屋大学医学部付属病院 児童精神科 吉川 徹氏

場所 総合福祉センター

参加者 100名

4 運営会議

- ・「もしものための安心チェックシート」の作成中